

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (石狩空知流域)

1 流域の特色(国有林 446千ha、民有林 299千ha)

本流域は、北海道中央部のやや西より、空知総合振興局及び石狩振興局の全域並びに後志総合振興局の北後志地区と上川総合振興局の一部(幌加内町)に所在し、道内人口の約半数が生活する石狩平野を取り巻くように分布しており、札幌市をはじめとした都市圏、石狩空知地域の各種産業等の水需要に重要な役割を果たすとともに、下流域に対する山地災害の防止上重要な位置を占めている。

また、優れた自然環境や森林景観を有し、多くの自然公園、都市近郊林、保護林等が所在する。

林業・木材産業面では、札幌市などの大量消費地を抱え、木材供給への期待も高い。

さらに、この流域には研究機関、教育機関等が多く立地し、研究・教育の場としての国有林の役割が期待されるとともに、下流住民等によるボランティア団体、NPO法人等が多く組織され、これらと連携した取組も求められている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

(1) 木材利用の拡大と安定供給等

世界的な資源ナショナリズムの高まり等により、外材輸入の先行きは不透明の中、政府は木材自給率を高めることとしている。また、地球温暖化防止対策としての森林整備にも重点が置かれている状況にあり、流域内の人工林は間伐期あるいは主伐期を迎えており、積極的な森林整備の推進と間伐材等の積極的な利用、木質バイオマス資源の活用が求められている。

また、木材の安定供給の取組では、システム販売の拡大を図る必要がある。

(2) 森林施業の効率化・共通化の取組

森林の整備や木材生産の効率化に必要な路網と林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムを推進し、普及啓発する必要がある。

また、共同施業団地内において効率的な路網配置の検討とともに普及啓発の観点から森林整備に係わる現地検討会を開催する取組が必要である。

(3) 民間連携した林業技術の普及啓発

森林施業、治山・土木事業等の国有林・民有林の技術、ノウハウの情報交換を行うとともに、試験研究機関との連携により先端技術の普及・定着に向けた取組が必要である。

(4) 安全・安心への取組

民国が連携した森林保全(治山事業、保安林整備)を実施し、下流住民等への防災情報等を発信し、防災意識を高める必要がある。

同時に地域住民の安全・安心に繋がる治山事業のPRを実施する必要がある。

(5) 生物多様性保全に配慮した取組

森林は野生動植物の生息環境として最も重要な生態系の構成要素であり、流域内にも希少種動植物が生存・生育している。そのため、民国が連携した生物多様性保全の情報共有化や取組を行う必要がある。

また鳥獣被害対策、とりわけエゾシカ問題に係わる取り組みが必要である。

(6) 要請の多様化に対応した森林環境教育

教育機関やNPO法人、ボランティア団体、企業等から森林整備体験のための国有林のフィールド提供や講師派遣等多様な要請があり、様々な対応が求められている。

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

石狩空知流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関(支庁、市町村、教育委員会、小中学校等)及び林業関係者、NPO法人等に文書回答方式等により、平成22年2月までに意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり260件(複数回答)寄せられた。

なお、要望等は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、安全・安心への取組、生物多様性保全に配慮した取組の推進、上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等、その他に区分した。

計画的な木材供給の推進

- ・間伐材の利用・未利用材等の木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組
- ・木材需給に関する情報交換等の実施
- ・システム販売等安定供給の取組
- ・木材供給における下流住民等への普及活動の積極的な推進
- ・保育間伐(存置型)の伐採木の有効活用の取組
- ・消費者(住居等)のニーズに応えられる木材供給 外

森林施業の効率化・共通化等の取組

- ・民国連携して連絡協議会等の開催や情報交換会の開催、森林施業の共通化・低コスト作業システム等の導入に向けた現地検討会の開催
- ・森林整備推進協定の締結等による施業団地の設定、路網整備の効率化の取組
- ・低コスト作業システム等の導入の取組
- ・情報交換会、低コスト作業システム等の導入に向けた検討会の開催

- ・路網の効率化の取組
- ・偏った人工林齡級配置を持続的な資源への変換 外

林業技術の開発・普及・啓発、林業事業者の育成

- ・新たな技術開発のための現地検討会等の開催、情報発信
- ・講師派遣等の技術的支援、各種講習会への協力
- ・緑の雇用対策のフィールド提供
- ・試験研究機関の調査研究等へのフィールド提供
- ・教育機関と協力した林業技術者の養成 外

安全・安心への取組

- ・地域住民への防災情報等の発信
- ・治山技術等の普及啓発の取組
- ・民国が連携した森林保全事業の実施
- ・治山連絡会議、地域の防災意識を高めるための検討会やシンポジウム等の開催
- ・適正な森林整備の実施
- ・土砂災害防止対策には流域市民との対話により実施 外

生物多様性保全に配慮した取組の推進

- ・生物多様性保全のための検討会・勉強会・シンポジウム等の実施
- ・鳥獣（エゾシカ）被害対策の実施
- ・エゾシカによる森林被害対策の実施
- ・天然力の活用及び広葉樹の積極的導入等の森林整備の実施
- ・生物多様性の保全を図るためのモニタリング調査の実施
- ・林木遺伝資源保存林の標識・歩道の整備と多様性に配慮した施業 P R
- ・生物多様性保全のためのモニタリング調査等の実施
- ・貴重な天然林の保全を図り、生物種の保全取組
- ・動物による食害のフィールド調査及び勉強会の開催 外

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

- ・フィールド提供等 N P O 法人、ボランティア団体等民間団体が行う森林整備等への支援
- ・森林環境教育等の実施
- ・林業体験、木工教室、山の恵み等による上下流住民の交流イベント開催
- ・森林セラピーのためのフィールド提供
- ・国有林の積極的な情報提供や森林施業の現地視察会の実施 外

その他

- ・河川管理者や自治体と協力した流域内での生物多様性や水土砂管理システムの構築
- ・既設の会議等の継続的開催
- ・各事業への評価及び公表
- ・自然休養林の保全取組 外

4 国有林野事業が率先して行う取組

計画的な木材供給の推進

ア) 目標

- ・間伐材の利用促進、木材需要のニーズに合わせた安定的な供給の取組
- ・未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化センター、道、市町村、木材協会、関係業界、試験研究機関等

ウ) 取組方向

- ・間伐材を使用した森林土木工事の事例を紹介したリーフレットを作成し、木材(間伐材)利用拡大の普及啓発
- ・木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組及び木質バイオマス資源活用への支援や普及啓発
- ・システム販売等安定供給の拡大

森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

- ・低コスト高効率作業システムの推進
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化センター、道、市町村、木材協会、関係業界、試験研究機関等

ウ) 取組方向

- ・民国連携した低コスト・高効率作業システム普及のための現地検討会の開催
- ・新たな森林整備協定の締結に向けた情報収集・発信等森林共同施業団地設定の取組
- ・低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組

林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標

- ・新たな技術開発のための各種取組及び情報発信

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化センター、道、市町村、木材協会、関係業界、試験研究機関等

ウ) 取組方向

- ・石狩空知森林行政連絡会議における情報交換
- ・研究機関と連携し林業技術の普及啓発に努め、併せて林業事業体の育成を図る
- ・施業モデル林設定の取組

安全・安心への取組

ア) 目標

- ・下流住民等への防災意識の向上と治山事業の P R

イ) 連携・協力機関

道、市町村、試験研究機関等

ウ) 取組方向

- ・治山事業の現地検討会等の開催
- ・下流住民等への防災情報等の提供
- ・治山事業の地元住民への P R

生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

- ・民国連携した生物多様性保全事業の取組
- ・エゾシカ対策の推進

イ) 連携・協力機関

道、市町村、試験研究機関、自然保護団体等

ウ) 取組方向

- ・高山植物保護林事業の実施
- ・関係団体と協力して保護巡視活動及び啓発活動の実施
- ・生物多様性保全のためのモニタリング調査等の実施
- ・エゾシカ対策の実施

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

- ・ N P O 法人、教育関係機関等と連携した森林環境教育等の推進

イ) 連携・協力機関

N P O 法人、教育委員会、小中学校、市町村等

ウ) 取組方向

- ・森林教室等の実施に当たり N P O 法人等と連携し多様なカリキュラムの充実を図る
- ・他関係機関が行う森林環境教育のためのフィールド提供や講師派遣
- ・企業等の社会貢献活動への協力・支援

- ・魚を育む森林づくりの推進のための支援

| | | | |
|----------|----------------------|------|-----------------------------|
| 流域名・流域番号 | 石狩空知流域(013) | 担当部署 | 石狩森林管理署 空知森林管理署 北空知支署 |
| 計画期間 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | | |